

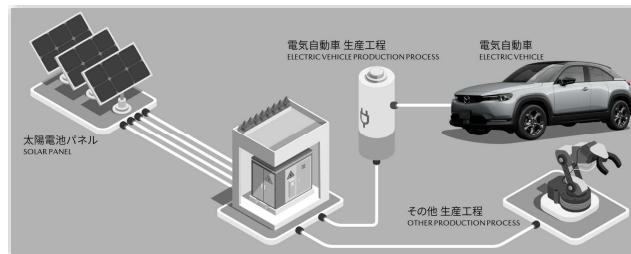
MX-30 EV MODELは走行時だけでなく製造時もグリーンに! 電気自動車生産を支える太陽光発電設備

マツダは、2050年のカーボンニュートラル化への挑戦を宣言しており、クルマのライフサイクル全体でのCO₂排出量削減に向けた活動に積極的に取り組んでいます。

太陽光発電設備で発電した電力は、マツダ初の量産電気自動車(EV) MAZDA MX-30 EV MODELのバッテリー充電工程をはじめとする生産工程に使用することで、CO₂排出量削減に貢献しています。

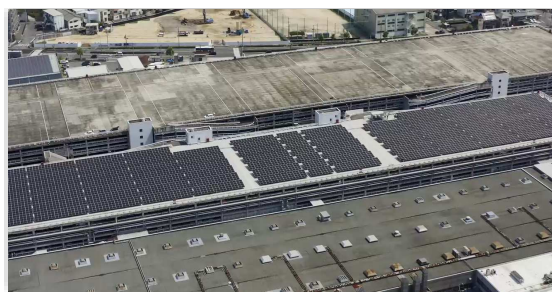
本レポートでは、直近の発電状況をご紹介します。

発電電力の使用イメージ



マツダ太陽光発電設備

稼働開始	2021年7月
パネル枚数	2,696枚
発電出力	1.1MW
年間発電量予測	1,542MWh



直近の発電実績(2021年8月~2022年7月)

マツダ太陽光発電設備は上記の期間で、スギの木 121,202 本分に相当するCO₂削減に貢献しています。

